令和2年8月5日第113号発行／陸前高田市議会（岩手県陸前高田市高田町字鳴石42の5）編集／広聴広報特別委員会 ☎0192（54）2111 印刷／㈲第一印刷

第3回 がんばっています!! 市内の団体や個人を紹介します。

菊地康智さん（34）は震災をきっかけに母方の実家である米崎町に移り住み、ショウガ農家として、生産はもちろん販売や各種イベントによるショウガの魅力発信に努めています。薬味としてだけでなく料理のメインとなるようなレシピ作りを進める一方、パウダーなどの加工品も製造・販売しています。

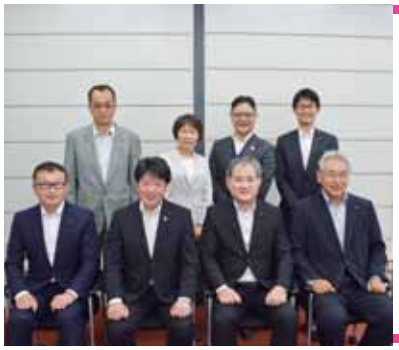
本来、国内の温暖な地域の作物であるショウガですが、陸前高田の絶妙な気候により、香り高く栽培できるようです。

ショウガ農家　菊地康智（やすとも）さん

私はサラリーマンからの転職だったため農業は全くの素人で不安だらけでしたが、「おいしい」「体調が良くなった」というお客さんの声が力になって今日までがんばることができました。

今では単なる生産・販売だけではなく、「作業所きらり」と農福連携し、地元飲食店やカフェにも新商品開発やイベントの開催などに協力をいただき、ショウガ農業の可能性拡大に努めています。

いずれは法人化し、産業にまで発展させ、ショウガを使用した化粧品など他分野にも挑戦していきたいです。



編集委員

小委員長　鵜浦昌也
副小委員長　蒲生哲
委員　木村聡
同　松田修一
同　大和田加代子
同　伊藤勇一
同　伊勢純
同　佐々木一義

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法により
暑中見舞い等を送ることは
できませんのでご理解願います。

陸前高田市議会議員一同

あとがき

新型コロナウイルス感染症は、命と健康、そして、経済や暮らしに大きな影響を与えています。とりわけ、本市は東日本大震災から立ち上がりつつある状況であり、市民のご苦労は、全国的な困難とも異なり、二重、三重のものだと思います。

こうした状況下、本市では他市町村に先駆けて自主財源による事業者の経済支援に取り組んできました。

今期定例会では各議員が、新型コロナウイルスの早期検査体制の確立や経済的な苦境に立つ市民の暮らし・経営の支援体制強化などを求める提案を行いました。県内でも初めての農林漁業者独自支援策も議決したところです。

今後とも、市民のお役に立てるような議会だよりの発行に努めていくことを肝に銘じつつ、あとがきといたします。

（伊勢　純）